



肝付町長 永野 和行

明けましておめでとうございます。
町民の皆さまにおかれましては、
希望に満ちた輝かしい新春をお迎え
のこととお慶び申し上げます。

昨年は、6月から7月にかけて広
島県や岡山県を中心とした河川の氾
濫や洪水が発生した西日本豪雨のほ
か、北海道全域における停電や大規
模な土砂崩れが発生した北海道胆振
東部地震など、大きな災害が各地を
襲いました。肝付町におきましても、
豪雨や台風24号による被害が発生し、
土砂崩れや家屋等の浸水が発生した
ところですが、地元消防団や建設業
を中心とした関係の皆様のご尽力に
よって、心穏やかに新年を迎えること
ができました。心からお礼申し上げます。

さて、肝付町には農林水産業、建
設業、商工業など多くの産業が営ま
れています。超高齢社会の到来に
よって、経営者の高齢化や事業継承問
題、現場での人手や担い手不足によ
り一様に厳しい状況にあります。ま



実証運行したAIタクシー

た、人口減少により地域コミュニティ
の低下や経済活動の停滞が懸念され
ています。これらの問題は、わたく
したちの町だけに限らず、今の日本
全体が抱えている深刻な問題です。
政府では、少子高齢化の克服による
持続的な成長経路の実現として、A
Iやロボットによつて、自動車運転
や物流等での自動化やIOT技術に
よる医療や教育、買い物支援サービ
スの提供を行うとしています。

肝付町では、昨年8月に総務省か
ら職員を派遣していただき、ICT

推進室を新たに設置しました。AI
タクシーや児童の見守りサービスな
ど皮切りに、人手不足を補い、幅広
い住民ニーズに応えるべく、行政が
担う各分野において実証・実装の取
り組みをすべての部署において加速
させていきます。もちろん、行政がで
きることには限界がありますので、
国や県をはじめ、大学や金融機関と
積極的に連携し、それぞれの専門分
野の力を結集させて取り組んでおり、
これからも推進してまいります。

いよいよ新しい元号のもと、新し
い時代の幕が上がります。豊かな生
活、安心して暮らせるまちづくりを
目指して、新たな挑戦を続けてまい
りますので、皆様のお力添えを賜り
ますようお願いいたします。
本年も皆様方にとりまして、健康
で実り多き年となりますよう祈念
いたします。